

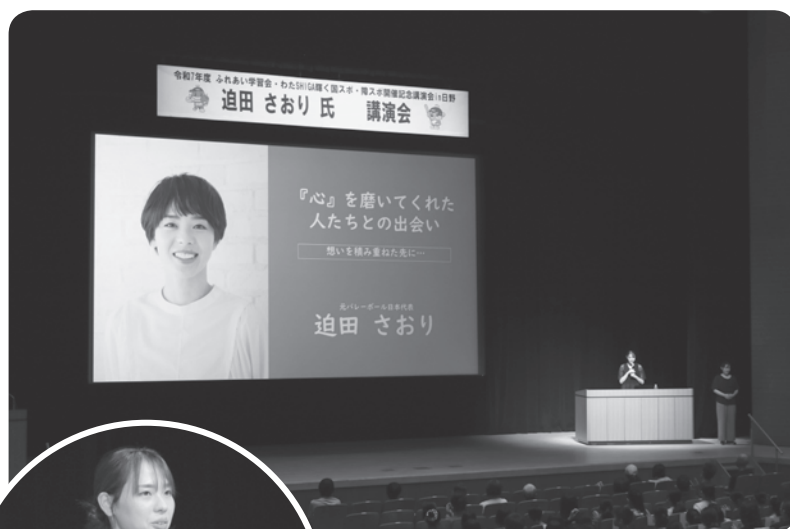
と も か る き

～ 思いやり 心でふれあい 支え合い ～

発行 日野町人権啓発推進連絡協議会
日野町教育委員会事務局内 TEL 52-6566

TOMOGAKI
No.170

【発行日】
2026年2月28日



ふれあい学習会



「心」を磨いてくれた人たちの出会い ～ 思いを積み重ねたその先に ～ 令和7年度ふれあい学習会

9月10日に人権啓発強調月間推進事業のとして、わたむきホール虹においてふれあい学習会を開催しました。

今年度はわたS H I G A輝く国スポ・障害スポーツ日野町実行委員会と共催

し、講師に元バレーボール女子日本代表 迫田さおりさんをお招きし開催しました。

講演では「心」をテーマにご自身の経験を語り、うまくいかない時もまず

は自分にできる小さなことを一つ一つ頑張っていれば必ず見てくれている人がいて、手を差し伸べてくれる人がいる。一人で抱えこまないことが大切で、そうした仲間との繋がりが、一人では決して見られなかった景色を運んでくれたことなどを迫田さんの持ち前の明るさで伝えていただきました。

参加された方からは「迫田さんのお話で明るく前向きな気持ちになり、元気をもらいました」、「チームは凹凸が重なって綺麗な形になるというお話は、チームや学校、職場での人間関係にも通じる」など感想をいただきました。

質疑応答の場面では質問者へサイン入りボールを手渡しいただくなど皆さんの心が温かくなるひとときとなりました。

令和7年度人権学習講座 「共に生き・共に守る」

「外国人住民と築く地域防災」

1月19日に講師として甲賀市市民活動推進課多文化共生推進室係長の上原ジャンカルロさんをお招きし、人権学習講座を開催しました。当日は多くの住民の皆様にご参加いただきました。講演の内容を紹介させていただきます。

統計データに基づく現状

日野町における外国人町民の人数は約1040名（令和7年12月現在）で、総人口に占める割合は5%を超えています。年齢層は労働の中核を担う20代・40代の若い方が多く、定住志向が高いです。しかし、排外的な報道などを目にする、家を建て長く安心して住むことができない不安を感じています。

小さな交流から始めましょう

多くの外国人が、行政などへ通訳や災害情報の発信などで貢献したいと考えています。課題はきっかけの不足であり、多くの人が、地域社会との接点を求めています。「食」や「防災」を切り口に小さな交流から始めていくことが効果的です。

やさしい日本語の有効性

甲賀市では47カ国29言語の外国人住民がおり、全ての言語に対応することは現実的に難しいです。アンケート調査の結果から、英語よりも「やさしい日本語」の方が理解できると答えた外国人住民は70%を超えることから、「やさしい日本語」やピクトグラムの活用が有効です。

助けられる人から 助ける人へ

外国人は行政からの情報よりも、自分たちが信頼する知人の外国人から情報を取得していることが分かり、甲賀市では核となるキーパーソンから情報発信をする仕組みの一端として外国人防災リーダーを育成されました。外国人防災リーダーの役割は主に

- ① 行政からの情報を拡散し届ける
- ② 避難所での受け入れサポート
- ③ 防災力向上のサポート の3つです。

東桜谷地区人推協だより

事務局 加納 治夫

当協議会では、例年地区文化祭に合わせて「文化講演会」を開催しています。本年度は「自身と家族の『もしも』に備える〜幸せの生前整理・終活・遺品整理〜」と題し、講師に遺品整理士の茂隆行さんをお招きしました。

当地区も高齢化が進み、孤独死もあるなど、「もしも」の備えに関心を抱く方も多く70名の参加がありました。

茂さんは、「日本が超高齢社会に突入し、地域によっては10軒に1軒が空家という実態が問題になっています。また、誰かが亡くなった後、残された家族が相続で困るなどの問題も多くあります。

建物が古く解体したくても、中に大量の家財等が残っていると解体はできません。ところが、ご家族や親族だけでは片付け

ことが難しいのが現実です。必要なものと不要なものに仕分け、なおかつ形見分けするものまで整理するのは苦労そのものです。生きているうちに出来る事、残された家族がどうすれば良いのか。これらの課題は家族だけでなく、地域の課題でもあります。」と話され、「生前整理」として、財産を信頼できる家族に託し、管理・処分を任せる「家族信託」や通帳や印鑑のありか、様々なパスワードを「エンディングノート」へ書き記しておくなどの対策が必要とお話しされました。



令和7年度 東桜谷文化講演会

令和7年度 日野町人推連協役員

会長	外池 多津彦
副会長	山添 昭男
副会長	渡邊 靖実
幹事	岡 正利
幹事	岡崎 正清
事務局長	小西 利哉
監事	久野 正和
監事	岡本 恭治